



進路部より (選択説明会特集 その1)

昨日の選択説明会では、「進路部より」ということで私がまとめの話をしたが、5分の予定が8分になってしまった。私は基本的に時間を守る方だが（本当です）、昨日は諸君に対する熱い（暑い？）思いがオーバーに繋がったと解釈してほしい…。さて、あの時に私が手元に用意していたメモを以下に示そう。もう一度しっかりと考えてみてほしい。

＊

▼進路を考える「基本的な話2つ」＋それを「具体化するための話2つ」

●「基本的な話2つ」の一つ目

11月6日（水）締め切り＝一つ結論を出さないと次に進めないから、とりあえず、一つ進路方向の結論を出すこと。担任との面接時には、文系・理系、志望学部、志望大学の見通しを言えるように。

君たちは日比谷生。できないことはない。しっかり考えて、やりたいことを目指そう。

●二つ目

えげつない話。6月の「進路通信」で大学生の就職状況を書いた（旧帝大＋早慶の卒業生4.4万人、主要企業の求人数2万人）。

有名大学の合格者＝①目標に向かって努力する資質がある ②新しいアイデアを生み出す知識の蓄積（＝暗記）がある

この採用基準が揺るがず、しかも日本企業が世界でトップレベルであり続けていることの意味を、素直に認識すべき。

●「具体化するため話2つ」の一つ目

いよいよ後期になり、進路も考えるし、部活の引退を迎える人もいる。この時期に勉強

する態勢をつくってほしい。

具体的にいうと、今までの高校生活の経験を生かして、勉強を中心に据えた生活パターンを作してほしい（部活を続ける人も、両立状況を見直してほしい）

3年生の前期になると行事があるが（行事には燃えよう！）、その行事を乗り切れる生活パターンを、この後期に確立すること。

●二つ目

勉強のパターンを創り上げたら、学校の授業を大切に作る姿勢をつくってほしい。

卒業生講演会の時、睡眠時間を確保していたことに注目した感想がたくさんあった。それは「睡眠時間を確保＝授業中に寝ない」ということ。さらに、授業を有効活用するための予習・復習の習慣化を。現役生は学校の授業をいかに活用できるかがカギである。

東大理一の●●さんは、予備校に通っていたと語っていたが、大切な点は、「予備校が学校とは違った切り口で解説してくれる」と話していた所。つまり、学校の授業をしっかり受け、それを予備校で確認していたのだ。

▼まとめ

「目標を決めて、素直に進路選択の現実と向かい合ってほしい」

「生活を正し、授業大切にしよう」

あれこれ不満をいったり、斜に構えたりしている人は、実は勉強から（自分の実力を知ることから）逃げているだけなのでは？

進路では「素直さ」が大切。「これがやりたい！」「イイ大学に行きたい！」「イイ仲間を持ちたい！」という気持ちを大切に。